

第1WG 評価コメント

評価者のコメント(評価シートに記載されたコメント)

事業番号1-39 現場の出番創出モデル調査

必要性は認められるが、緊急性は認めにくい。

既にある問題点をまず解決すべき。お金をかける有効性が乏しい。

現在行われているNPOや自治体の取り組みの中でボトルネックになっているものを検証し、解決を支援することによって実証的な調査はいくらでも可能であると考える。

相談窓口的な機能として存在すればよく、わざわざプロジェクト的な主体に関わっていくべきではない。地方発でお金でプロジェクトを作るとなると、補助金バラマキになりNPOの自立を損なわせる。

全てを見渡すことは、現実問題として無理。今ある問題を解決することが大切。

機能は必要だが、委託等をするのは思い違い。現場感覚と大きく異なる。

内閣府が自ら募集しモデル実施を行う必要性和緊急性は感じられない。

ボトルネックの抽出自体は正当な目的であろうが、それになぜ予算措置が必要なのか、今ひとつ説得力がない。

やるべきことをやらずに調査で逃げている。関係部局でたらいまわしにせず、関係省庁の調整支援をしてほしい。

これまでのボトルネックの整理を行うべき。

事業の熟度が低く、来年度要求は見送り、地域活性化のあり方を抜本的に検討すべき。

WGの評価結果

廃止

(**廃止6名** 自治体/民間0名 **予算計上見送り5名**

予算要求縮減:a半額0名 b1/3程度を縮減0名 cその他0名、
予算要求通り0名)

とりまとめコメント

廃止とする意見(6名)と予算計上見送りとする意見(5名)があり、いずれにしても今年度は予算をつけるべきではないということである。

本事業のようなボトルネックを探す役割は非常に重要であり、その役割を十分に発揮して、地方が自由に事業をできるようにしていただきたいし、またNPOも一生懸命活躍できるようにしていただきたい。

そのような意味で内閣府には頑張ってもらいたい、本事業のように30億円のお金で調査を行う有効性は乏しいと考えられる。

よって、当ワーキングとしては、廃止を結論とする。